令和6年度

定期監査結果報告書

(令和6年8月～令和6年9月)

令和6年11月27日

可児市監査委員

地方自治法及び可児市監査基準に則り監査を実施したので、その結果を以下のとおり報告する。

第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項、第4項の規定による監査

第2 期間及び対象

令和6年8月22日から令和6年9月27日まで

- (1) 連絡所・地区センター（今渡、帷子、春里、中恵土）
- (2) 小学校（土田、旭、兼山）、中学校（東可児、広陵）
- (3) 保育園（土田、兼山）

第3 着眼点

地方自治法第2条第14項及び第15項の規定の趣旨に沿って、事務事業が法令等に従い効率的かつ効果的に執行されているか、また、合理的で適正に執行されているかを主眼に実施するもの。

第4 主な実施内容

1 監査委員による質疑応答

被監査部署から業務実績、予算執行状況の説明を受けた後、監査委員から関係職員への質疑応答、施設の現地確認を行った。

2 事務局職員による確認

(1) 事務書類の処理状況の確認

被監査部署の契約事務、会計事務等の書類処理について、各種条例、規則、手引き等への適合可否を確認した。

(2) 現金取扱状況の確認

被監査部署の現金取扱状況（レジ、金庫、鍵の管理、入金手順、帳簿管理等）を確認した。

(3) 備品管理状況の確認

ア 現場において、被監査部署が購入した備品の現物及び管理シール貼付を確認した。

イ 被監査部署が廃棄した備品について、適正な廃棄事務処理が行われているかを確認した。

(4) 関係団体の事務上の管理状況の確認

被監査部署で事務取扱のある関係団体がある場合、その事務上の管理状況（通帳、印鑑の管理状況、帳簿、伝票の作成状況）を確認した。

第5 結果

各部署の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに事務の執行については、概ね適正に実施されていると認められるが、寄付採納の手順について一部不備が見受けられた。

なお、事務書類の処理状況、現金取扱状況、備品管理状況、関係団体の事務上の管理状況の確認において、概ね適正に処理されているものと認められた。

今後の事務にあたっては、下記の要望事項に留意の上、引き続き適切な遂行に努められたい。

第6 要望事項

【連絡所・地区センター】

自治連合会など他団体の備品を保管する場合は、紛失や事故などトラブルが起きた時の瑕疵責任を明らかにするよう市の指針に基づき適切に許可されたい。

【小学校・中学校】

- 1 スポーツ少年団やPTAなど他団体の備品を保管する場合は、紛失や事故などトラブルが起きた時の瑕疵責任を明らかにするよう市の指針に基づき適切に許可されたい。
- 2 PTAが設置している資源回収のエコステーションで作業中のパッカー車に子どもが近づくと危険である。事故が起こらないよう配慮すると共に設置許可や責任の所在について書面により明確にされたい。
- 3 PTAなど外部団体の会計について、通帳の名義や請求書の宛名などが学校名であるものが見受けられるため、適切な取り扱いをされたい。
- 4 薬品やUSBメモリの管理簿について、年度が不記載であったり、鉛筆で記入されているものが見受けられる。記載方法を改めるとともに、使用していない薬品は廃棄するなど整理されたい。

【保育園】

保護者から現金を預かることが少なくなったものの、トラブルとならないよう、少額でも通帳、現金出納簿で記録するなど、しっかり現金を管理されたい。